

本校の地域連携・地域交流

山中湖村立山中小学校

福祉教育の推進 ～山中湖村社会福祉協議会との連携～

☆4, 5年生総合的な学習の時間

4年生：①点字学習会（講師：山田栄子さん）

②手話体験（講師：手話サークル白鳥 代表 畑山はるみさん）

③視覚障害者講話（講師：荻窪たき子さん・盲導犬ガロンちゃん）

④車イス体験（講師：小林俊介さん）

5年生：グランドゴルフ（山中湖グランドゴルフ愛好会）

1. 目的と経緯

- ・毎年、山中湖村の社会福祉協議会から補助金を頂き、講師の紹介及び派遣や当日の運営、必要物品の準備・貸出等の協力のもと4年生を中心に福祉教育に取り組んでいる。
- ・地域の方々を講師にお招きし、連携を図っている。今年度は、学年をさらに広げ、高齢者のグランドゴルフ愛好会との交流を取り入れた。



2. 内容

- ・4年生では、点字・手話・車イス（保護者参加も呼びかけた）の体験を行い、視覚障害者の生活を知り、盲導犬の役割について学んだ。
- ・5年生は、地域の高齢者の方とグランドゴルフを体験した。3人グループに一人ずつ高齢者の方が入り、ルールやゲームのマナー、打ち方のアドバイスにスコアの付け方まで細かく教えて頂き、楽ししみながら充実した活動となった。



3. 成果と課題

- ・子どもたちは講師の方の話に真剣に耳を傾け、体験活動に意欲的に取り組んだ。事前学習の成果を生かし、関心意欲を高めて講話や体験に参加できた。
- ・低学年は、保育園児にも参加して頂き、交通安全集会を行っている。地域の安協や駐在所の方から、交通ルールについて説明を受け、横断歩道の渡り方や自転車の乗り方体験を毎年学んでいる。
- ・講師の送迎や福祉講話の企画運営は、担当学年にとっては負担も大きい。また、福祉体験や高齢者との交流を、低学年にもさらに広げていけるよう、社会福祉協議会と連携して、教職員に負担のかからない計画と運営の実現を目指したい。